

子宮頸がん検診



ワクチンを接種しておけば大丈夫？

ワクチンを接種しても検診は必要です。

ワクチンには高い予防効果がありますが、全ての子宮頸がんを防げるわけではありません。20歳になったら、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。

くわしくは
こちらから



問い合わせ先

お住まいの市町村予防接種担当窓口にご連絡ください。

一覧は
こちらから



群馬県感染症・疾病対策課

☎027-226-2618 直通

群馬県ホームページの紹介

群馬県では、動画やホームページによる情報発信を進めています。

群馬県の
作成動画



ヒトパピローマウイルス
感染症とHPVワクチン



HPVワクチン
理解促進の取組



接種できる
医療機関



あなたをまもる手段、
HPVワクチンと子宮頸がん
検診について、家族や身近
な人と話してみましよう。



このリーフレットは、産婦人科専門医の監修を受けて作成しています。



あなたをまもる手段

HPVワクチンを知ろう



美幸の母
中山涼子 CV: 柚木 涼香



高校1年生
中山美幸 CV: 古賀 葵

ナレーション: 三木眞一郎

私たちが出演する
解説動画は
こちらから



作成 群馬県

協力 群馬県医師会

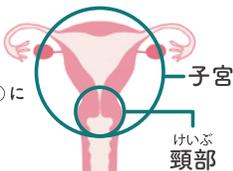
子宮頸がんとは



原因は？

ウイルス感染が原因

子宮頸がんは、HPV(ヒトパピローマウイルス)に感染することで、子宮の「頸部」という、出口に近い部分にできるがんです。



女性の多くが一生に一度は感染するらしいわ。毎年約1万1千人の方がかかって、約2,900人が亡くなっているの。



若い世代に、

がんを発症する方が増えています。

全国年齢階級別推定り患率(対人口10万人)



(出典)国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ))

くわしくは
こちらから



HPVワクチンとは



誰が受けられるの？

小学校6年生から高校1年生まで

原則3回の接種が必要で、6か月くらいかかります。15歳になるまでに打つと、2回で終わるワクチンもあります。

どのくらい効果があるの？

原因の80~90%を予防

子宮頸がんの原因HPV型と
ワクチンの予防効果

80~90%を
予防

9価HPVワクチンの予防効果



2・4価HPVワクチンの
予防効果

※令和8年4月から、定期接種には9価ワクチンのみ使用されます。

まずは、ワクチン接種で予防を！
20歳からは定期的に
子宮頸がん検診を受けると、さらに安心ね。



くわしくは
こちらから



ワクチンの安全性



ワクチンの副反応が心配です。

安全に使用できることがわかっています。

接種した場所の痛みや、ふらつきが出るがありますが、重大な副反応はまれです。不安なことがあれば、医師によく相談してから決めましょう。

海外の状況



他の国はどうなの？

世界標準といえるワクチンです。

130か国以上で公的な予防接種が行われており、カナダやオーストラリアなどでは接種率が80%を超えています。

男性接種



男の人が受けても効果があるのかな？

男性にも効果があります。

男性でもHPVワクチンを受けられます。接種することで、肛門がんや尖圭コンジローマなどの原因となるウイルスへの予防効果が期待できます。任意接種となりますので、費用については医療機関にご相談ください。

くわしくは
こちらから

